

私がこの春休みの間に、部屋の掃除をしていると、机の中からたくさんの手紙が出てきました。書いて途中でやめた物、書いたけど渡さなかった物、友人にもらった物、友人と授業中にこっそり回した物。また、手紙だけではなく交換ノートなんかも出てきました。いつもの片付けでは、それらは箱などにまとめていれるのですが、その時は少し時間があつたのでそれらを見てみることにしました。一つ一つ見てると自分ではもう忘れていて、“こんなことあつたっけ？”と思ったり、友人と喧嘩をした時にもらったと思われる“絶対許さない”と書かれた手紙を見つけた時は“こんなこともあつたなー”と思ったりもしました。いろんな事を考えながら手紙を読んでいるとある一通の手紙を見つけました。その手紙は小学六年生の時にインフルエンザになった時仲の良かった友人からもらった手紙です。その手紙には“大丈夫？”や“早く治してね”だけでなく“学校であつたこと”例えばその日担任の先生が言つたおかしな事やクラスメイトの話などが書いてありました。中学生になつた今なら、友人がインフルエンザになったらラインやメールなどで“大丈夫？”や“お大事に”と伝えてわざわざ手紙を書くという事はしないと思います。SNSを利用する事があたりまえになつた今、私は手紙を書いたり、交換ノートをする事をあまりやらなくなつたなと思います。携帯電話は塾の通学があつたので持っていました、家族としかつながっていなかつたので友人とメールをするという事はなかつたし、土日に何か話したい！と思つたら友人とやっていた交換ノートに書いたりしていました。今思えばその時の私達にとって交換ノートは送るのにすごくすごく時間がかかるメールの様な物だつたのかなと思います。

話しが少しずれたと思うのですが私は中学生になつて携帯を持ち始めてから手紙をちゃんと書くことが本当に少なくなつたと思います。それはSNSを利用するようになってわざわざ時間を使って書く手紙より楽ですぐに伝えることができるSNSの便利さに味をしめたからだだと思います。でも今回、色々な手紙を読んでいて、相手の字がいつもより雑だと“急いで書いたのかな”と思ったり、“いや、機嫌が悪かつたのかな”と色々な事を考えることができたり、また、誕生日にもらつた手紙はいつもよりこつて書かれていたり喧嘩をして仲直りする時の手紙は何故かいつもリラックマの同じ便箋だつたり、小さく許せ～や許せよ♡とすごくすごく小さな字で書いてあつたりとその時は気付かなかつた事や感じなかつたことを発見することができました。

今回、色々な手紙を読んで自分なりにメールやラインなどのSNSとは違う手紙の良さに気付けたと思います。それは、手紙に書いてある相手の字から、相手がどんな気持ちなのかなんとなくわかること、便箋の柄や空白にシールを張つたりイラストを書いてくれていたりして相手がこの一通にかけてくれた時間などがわかつて心が温かくなると思います。メールやラインなどは文字が並んでいてスタンプなどもありますが手紙の方が相手の気持ちがわかると思います。

私は今回の感話で手紙の良さについて再認識することができたと思います。今回感じた事

を無駄にしないように今度友人に手紙をかいてみようと思います。